

1 部

学習サポート

6 / 17～8 / 8 の各種申込締切一覧

通信教育部では各自のペースで学習していただくことを基本としておりますが、各種の申込みは下記の日程必着をお願いいたします。

(注) 備考欄の『レポート課題集』参照ページについては、『試験・スクーリング 情報ブック2013』1部に記載の変更内容も併せてご確認ください。

■全学生に関連するもの

	提出物	締切日
7・8月科目修了試験	レポート・ 申込みハガキ	7月10日(水)
夏期スクーリングⅡ (7/13～7/29)	申込みハガキ (『With』91号巻末)	6月20日(木)
夏期スクーリングⅢ (8/1～8/12)	申込みハガキ	7月11日(木) (注1)
夏期スクーリングⅣ (8/16～8/27)	申込みハガキ	7月25日(木)
夏期スクーリングⅤ (8/30～9/8)	申込みハガキ	8月8日(木)
オンデマンド・スクーリング	TFUオンデマンド 上で申込み	7月1日(月)正午ほか 本冊子p.42表参照
特講・福祉心理学11 履修登録・スクーリング申込み	履修登録用紙	6月17日(月)
特講・福祉心理学8 履修登録・スクーリング申込み	履修登録用紙	6月30日(日)

7月在宅web科目修了試験	レポート・ 申込メール	6月25日(火)正午
追加履修夏期分申込み	巻末申込用紙	6月20日(木)

(注1)「障害者教育実習の事前(・事後)指導」を含めて申込みを行う方は、7/4(木)必着。

	受付日
レポート (レポートはいつ提出してもよいものですが、受付日の午前中到着分までについて、まとめて教員に依頼します。ひとつの提出目標として目安にしてみてください。)	6月21日(金) 7月2日(火) 7月11日(木) 7月25日(木) 8月8日(木)

※「スクーリング受講者専用別レポート」締切：(郵送) 受講後1カ月以内
(オンデマンド) 5部参照

■社会福祉援助技術演習・実習関連

	締切日	備考
★社会福祉援助技術演習A・◆演習I スクーリング受講申込 (『With』90号巻末ハガキ または91号巻末用紙) + 1単位めレポート (スクーリング事前レポート) + その他受講条件	7/13～8/11 受講希望者 →6月30日(日) ※定員に余裕のある会場のみ申込受付。	(注) 『レポート課題集 2013(社会福祉編)』 「★演習A」 p. 131～136 「◆演習I」 p. 188～192 + 『試験・スクーリング 情報ブック2013』 p. 32・34

★■社会福祉援助技術実習指導B-3 +★■社会福祉援助技術演習C-2 ・◆社会福祉援助技術現場実習指導(事後) スクーリング受講申込み	8～10月受講希望者 →7月15日(月)	(注) 『レポート課題集 2013(社会福祉編)』 「★■指導B」 p. 153～156 「★■演習C」 p. 143～148 「◆指導」 p. 198～200 + 『試験・スクー リング 情報ブッ ク2013』 p. 33～35
★■社会福祉援助技術演習C (C-1 + C-2 連続受講型) スクーリング受講申込 (『With』89号巻末申込用紙) + 1・2単位めレポート + その他受講条件	7月受講希望者 →6月20日(木) ※実習免除者・科 目等履修生での 実習希望者対象	

■精神保健福祉援助演習・実習関連

	締 切 日	備 考
■精神保健福祉援助演習B (実習免除者対象) スクーリング受講申込 (『With』91号巻末申込用紙)	8/31・9/1 受講希望者 →6月20日(木)	※対象者に個別配 付の冊子参照
■精神保健福祉援助演習B (実習免除対象) 1単位めレポート	8/31・9/1 受講希望者 →6月30日(日)	
■精神保健福祉援助実習指導A 課題1-① (スクーリング事前課題)	8/31・9/1 受講希望者 →7月31日(水)	
■精神保健福祉援助演習A 2単位めレポート (スクーリング事後レポート)	7/6・7受講希望者 →7月31日(水)	『レポート課題集 2013(社会福祉編)』 p. 230～233
◆★精神保健福祉援助実習 課題3-② (実習事後レポート)	7/20・21受講希望者 →6月26日(水)	『レポート課題集 2013(社会福祉編)』 p. 240～250

※誤植訂正：『With』91号巻末申込用紙 申込締切日【誤】5/31(金)→【正】6/20(木)

■教育実習・障害者(児)教育実習・介護実習関連

	締 切 日	備 考
介護実習事前事後指導 事前レポート	7/13～15受講希望者 →6月20日(木)	『レポート課題集 2013(心理・教職編)』 p. 157～164
教育実習・障害者(児)教育実習 誓約書・健康診断書(・個人調 査票のコピー)提出	8月実習開始者 →6月15日(土) 9月実習開始者 →7月15日(月)	※事前指導受講済 者のみ対象
障害者(児)教育実習の事前・事後指導 事前指導スクーリング受講免除 のための書類提出	8/3・4 受講免除希望者 →6月20日(木)	(注) 『レポート課題集 2013(心理・教職編)』 p. 245～250 + 『試験・スクー リング 情報ブッ ク2013』 p. 37
障害者(児)教育実習の事前・事後指導 事前指導スクーリング申込み (巻末:夏期スクーリングⅢ申込ハガキ)	8/3・4受講希望者 →7月4日(木)	
障害者(児)教育実習の事前・事後指導 1単位めレポート	8/3・4受講済み で10月実習開始者 →8月8日(木)	

■その他

●卒業研究

- ・提出締切(社会福祉学科) 6月18日(火)
- ・提出締切(福祉心理学科) 7月31日(水)
- ・福祉心理学科2回めガイダンス申込締切 7月1日(月)

●10月生進級予定者

- ・転学科希望届提出締切 7月20日(土)

●9月卒業希望者

- ・初回レポート提出期限 7月20日(土)

「行学一如」に関する 季節外れの考察

教員 MESSAGE

兼任講師 齋藤 征人

1. 研究から実践フィールドへ

あの悲惨な東日本大震災が起きた3月、ある衝動的な思いと出来事をきっかけに、当時の職を辞しました。

その年の6月、臨時便で降り立った仙台空港周辺の光景を今も忘れることはできません。田植えの時期を迎えて、緑のじゅうたんを敷き詰めたようにキラキラと輝いているはずの田園には、廃車の山がうず高く積まれ、あぜ道に呆然と立ち尽くす無数の人影を見ました。

「現場に出よう」

今にして思えば、それまでの「神話化」された種々の俗説や研究成果なるものへの猛烈な反省と不信感と怒りが、そこにはあったように思います。良縁が重なって、7月から障がい者福祉の現場で働くことになりました。思いがけない「現場デビュー」と相成ったわけです。

2. 10年間のライフワーク

「デビュー」までの約10年間、私の問題意識は「大学と現場」「理論と実践」「実践に有益な研究成果の創出」などで、その思いはとりわけ故谷中輝雄氏に師事した大学院在籍当時に出逢った多くの障がい者との関わりのなかで強くしていったように思います。

当時の拙い研究の一つは、いわゆる三福祉士（社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士）らの「実践知」（＝実践の渦中で獲得した、他に伝達・応用可能な教訓的知識）がどのように形成されていくのか、そのプロ

セスを仮説的に明らかにするというものでした。その結果、多くの福祉士は、実践のなかで既に見聞きしていた専門的知識や理論が実感を伴うようになり、実践を重ねるごとに日々の実践と既知の理論とが重なってきいたり、あるいは他の実践例からの気づきによって既知を深めたりしていることがわかりました。また、他者に実践の意味内容を説明する機会や自らの実践を振り返ることで、それらは意味づけられ、専門職として大切にしたい価値が意識化されていくことも見えてきたわけです。

実践の振り返りや、言語化、検証を繰り返すことで実践の可視化が行われ「実践知」は形成されていくため、こうした振り返りや言語化、検証を行いやすい環境を整えることが、いわば実践力の向上には不可欠ということになりました。

3. 大学で学ぶべきたった1つのこと

この研究成果は、およそ50人の研究協力者への計50時間を超える聞き取り調査によって得られたもので、実践現場で学ぶことの意義を再確認させられるものでしたが、同時に調査途上で頭をよぎったのは「大学で何を学ぶべきか」という疑問でした。

しかし、その答えもまた調査結果のなかにありました。

大学は基礎を学ぶところ。いわば型（かた）を学ぶのです。現場では型を一から教えているゆとりはない。また、基礎がしっかりしていないとその現場でとっている手法（やむを得ずとらざるを得ない手法を含めて）が基準点となって肯定されてしまう。本来はこうあるべきという「原点」を大学で捉えておかないといけない。制度や方法は日進月歩であり、こればかり追いかけていると大学で教えることは肥大化し、学生も真に必要なことを学べなくなるというのです。

つまり、ここでいう「真に必要なこと」とは、基礎であり、型であり、

より約言すれば社会福祉の見方・考え方，パースペクティブの事です。
ここのところをかけ違えると，まるで釦の掛け違いように，やることなす
ことすべてがズれてしまうことになります。このことは，大学において専
門教育を受けるうえで銘記しておくべきことのひとつだと思います。

4. 国家試験をめぐる最近の状況変化

とはいえ，通信教育で社会福祉を学ぶ多くの方にとって，各福祉士国家
試験の合格はまさに「悲願」といえましょう。近年の大幅な養成カリキュ
ラムの改正とそれに伴う国家試験出題内容の変化，合格率の低下などは周
知のことと思います。

そこで受験を予定している方にお伝えしたいことは，①出題内容が広
範・多岐に渡り難解であること，②よって過去問の克服だけでは合格でき
ないこと，③さらに予想問題や模擬問題等が合格点に達しただけで満足し
てはいけないことなどです。

この類の受験勉強に「近道」はなく，基本的には過去問演習→テキスト
・参考書等の理解→予想問題の克服を繰り返していくより他ないと思い
ます。ただこれまで，過去問演習に時間をかけていたのに比して，テキス
トの理解→予想問題の克服・分析にもかなりのエネルギーを注ぐ必要が出
てきました。それもできるだけ早い時期に。

直言するなら，受験者自身が次なる出題を想起できる程度の知識力が求
められるようになったわけで，その分これまで以上にアップテンポの学習
が求められます。こうした点からも，ぜひ本学の特講等の受講をお薦めし
たいと思います。

5. 自らの社会福祉観を磨く季節に

現在、私は廃校跡を活用した福祉コミュニティ拠点づくりのプロジェクトに参加しています（市民活動プラザ六中）。

歴史ある住宅街のなかにありながら、生徒数の減少によって惜しまれつつ廃校となった校舎は、今、障がい者の働く場・余暇を楽しむ場としての機能をもちながら、同時に地域住民が支え合いのコミュニティづくりをしていくための様々な「仕掛け」を展開する場として活用されています。ここでは支えられる一方の人はいません。誰もが支えられる側であり、誰もが支える側でもあります。この新しい試みを下支えしているのは、かつて学んだ社会福祉の原理と自分なりに醸成してきた社会福祉観によるものと確信しています。

「行学一如」

私にとって現在の実践は、学ぶことの連続であり、研究活動そのものだと考えています。長い人生において、自らの社会福祉観を磨く季節を今迎えられた皆さんの、今後の有意義な研究活動に期待いたします。

卒業生アンケートから(1)

このたび過去の卒業生約2,200名に、学んだことや取得した資格をどのようにいかしておられるか、伺いました。一部をご紹介します。

【卒業後の進路】

- ・ 昨年、社会福祉士を取得しました。現在は、老人ホームの生活相談員をしています。資格を取得する前より今のほうが勉強をしていますね。常に新しい情報を発信し続けることができるソーシャルワーカーにならないと今後、増加していく高齢者のニーズに迅速に答えることはできないと思います。
- ・ 今年、社会福祉士を取得した。患者様やその家族を通じて理不尽に感じる事が多く、民間企業の参加を促進した介護保険サービスに、障害者総合支援法も利用できるよう柔軟な対応が今後大きな課題であり、その課題に社会福祉士として活動ができるよう、勉強していきたい。
- ・ 卒業と同時に社会福祉士の資格を取得することができた。社会福祉士を取得したことにより、多くの出会い、機会に恵まれ、自分の可能性、視野を広げることが出来た。現在では地元の社会福祉士会に所属し、成年後見活動をはじめ、様々な活動を行っている。
- ・ 市社会福祉協議会に社会福祉士として勤務しています。地域包括支援センターは昨年度、市直営方式から委託方式に改められ、震災以降の支援と併せて考えるべきことがたくさんあります。被災された方の一部はもとの住宅に戻り、徐々に震災前の状況を取り戻していますが、仮設住宅から出たくとも出られない方も数多く存在しています。そうした方々は複合的な問題を抱えるケースが多く、自分の無力さを感じず瞬間も経験し始めました。
- ・ 社会福祉士と精神保健福祉士の資格を取得し、地元であり被災地でもある気仙沼市の公務員試験（上級社会福祉士）に合格して障害福祉行政の仕事に従事しています。
- ・ 3年次編入からスタートしましたが、精神保健福祉士の資格を取得するまで4年かかりました。卒業して数年後、障害サービス事業所に勤務することができ、資格を活かすことができました。
- ・ 卒業後、児童福祉関係の心理相談員を目指し就職活動を始めました。50歳を過ぎての新境地、就職はかなり厳しいと覚悟して臨みましたが、幸いにもすぐに就職することができました。現在、区役所保健福祉センター及び乳児院において、非常勤職員として勤務（兼務）致しております。
- ・ 自分は児童福祉司だが、児童心理司とチームを組んで面接やカウンセリング、虐待対応や発達相談を行うに際し、福祉心理学科で学んだ心理学の基礎的な知識は、大きな支えとなっている。また、授業で学んだ中から卒業後に興味を持って、フォーカシングなど学び続けています。

(p. 61や通信教育部Twitterでもご紹介しています)